

# 2019年 日本RC模型グライダー協会（JRGA）理事会 議事録

日時：2019年2月3日(日) 13:00～16:00

場所：大阪府 吹田市 あやめ保育園

参加者：橋本会長（大阪）、櫻井理事長（愛知）、濱田（群馬）、  
関根（東京）、児山、市村（神奈川）、青木（静岡）、森尾（奈良）、  
浅野（大阪）、星島（兵庫）、篠原（香川）、 計11名

## 議事

### 1. 会長挨拶：橋本会長

エリアの縮小、規制強化等で取り巻く環境が厳しさを増している。今ある飛行場を今後とも利用・維持するために、どうするかをクラブまたは協会として考える時に来ているのではないのでしょうか。理事の方達と一緒に考えていきたい。

### 2. 理事会開会宣言：事務局 浅野

理事総数18名中、出席11名、委任状提出7名。

過半数の理事出席により理事会が成立していることを宣言。

### 3. 書記の選任：櫻井理事長が篠原理事を指名し承認された。

### 4. 決算報告：濱田理事、星島監事

濱田理事より会計条項、星島理事より監査結果が報告され、承認された。

主な内訳の説明

賛助会費：5万円から3万円に収入減（ラジコン工業会）。

広告宣伝費：HP更新費用として2万円から約4万円に増加。

会報作成費：今回製本および発送を業者に依頼した。従来と比較し綺麗になっているが安く発送する手段を取っているのでトータルコストを抑えることができています。

### 5. 報告・審議事項：各理事

#### （1）会員登録状況報告：篠原理事

2019年2月1日時点の有効会員数は136名。昨年は4名の新規入会者があったが、2016年度以降会費未納の会員13名を休会扱いとした為、トータル9名の減。

#### （2）競技会スケジュール調整：浅野理事

2019年日本選手権およびJMA競技会日程を確定とし、各地の競技会実施日程の調整を行った。

① 現状グライダー関連の日本選手権が上里に集中している。F3K、F5J等で他地域開催できるかどうか検討して欲しい。各地で開催することで参加者拡大にもつながる可能性がある。（浅野）

② F3Kは上里の他、MHFにも分散することにした。将来的には他の地区のF3K大会も含めてツアー大会の実施も構想として考えている。（関根）

③ F3Fとして競技会のレベルアップを図りたい。過去に郵政大臣杯があったが現状はどうなっているのか。（市村）

総務大臣杯として電波安全協会の元で開催している。申請方法等確認してみる。(櫻井)  
日本選手権として模型航空連盟に申請することも一手段だと思う。(児山)

- ④ 2020年にF3Bワールドカップを上里で開催することの検討を開始している。(浅野)
- ⑤ F3Kアジアパシフィックオープンを2020年開催で相談を受けているが、2022年で検討している。開催場所、各申請や運用などで情報交換させてもらいたい。(関根)
- ⑥ F3J競技ルールの変更(翼面荷重制限とウインチの利用、等)があり、今年の日本選手権から適用する。(児山)
- ⑦ 2018年F5B、F5Dの世界選手権開催に当たっての各種申請等、苦労した部分の紹介。2019年F3K、F3Bの世界選手権メンバ紹介。(児山)

### (3) 各理事からの報告事項

関根理事：MNT HLG FIELD (MHF) の飛行場問題を紹介。農地をお借りしているケースでは農地不正利用の問題に発展しないように十分に注意してほしい。攻撃的にクレームを言うてくる人対策のため、MHFでは大会案内等で会場の場所をオープンにせず、問い合わせを受ける方式に変更した。

星島理事：兵庫でも農地を借用して活動している。整備用に機材をテントに保管していたがそれが荒らされることがある。複数の地主から借用しているため、地主に迷惑が掛からないようにするため苦労している。

市村理事：玄岳メンバは150名近くいるが、去年は年齢を理由に6名が退会。裾野が広がらない。

浅野理事：滑空記章の活用。上里サーマル大会の参加者にA章を授与した。このような使い方もあるので参考にしたい。  
今回、会報の発行は業者依頼したことで製本・印刷・発送に係る手間は削減されたが、記事が集まらない。記事募集の手分けと記事のネタを検討してほしい。

### (4) その他

- 青木理事：競技会での得点集計方法。集計表と表彰状の印刷を一気に行いたい。  
→集計表ではGliderScoreが良くできている。但し、賞状印刷は別処理で対応している(関根、篠原、児山)
- 森尾理事：去年はJRGAのHPをリニューアルし入門者の受入れ口を作成した。次のステップとして、クラブやフライトエリア紹介ができないか(資料あり)。  
→JRGAのHPから相手クラブのHPにリンクを貼るレベルなら良いけれどそれ以上は責任の観点からも難しいと思われる、という意見が多数。  
まずは、リンク可能なクラブのHPへリンクすることから始める。

## 6. 次年度理事会開催予定

2020年2月2日(日)東京開催の予定

以上